

在学中取得可・履歴書「資格欄」に書けます！

環境再生医

(裏面：取得方法と取得メリット)



●環境再生医とは？

環境再生医とは「環境を再生するための知識と技術を持っていることを証明する資格」です。ただし、自然環境とは対象となるものが広いため、それぞれの分野の専門家が集まった、自然環境の再生と保全に関する専門家集団を目指している制度です。

●なぜ皆さんに環境再生医の資格をとっていただきたいか？

これからの環境活動は、今までのように一部の専門家が行うものではなく、誰でも、いつでも環境という視点で、経済活動(仕事など)や日常生活を行う時代です。そのためには、「環境人＝環境への正しい知識と行動力を持った人材」が、業種や分野を超えて広く関わることが重要となります。そこで、これから社会に出る皆さんに、その環境人の一員に加わっていただき、これからの環境活動を進めていただきたいと思います。

●環境再生医の特徴とは？

○実務経験者

通常は環境関連の実務経験が必要です(初級2年、中級5年、上級10年以上)。そのため学生で取得できるのは、認定校認可を受けた教育機関のみとなります。

○認定校制度

当協会が認定した環境系の講義や実習を行っている教育機関(大学や専門学校など)には、当資格の認定校として学校に初級推薦を委嘱しています(※要必要単位履修)。

○総合的環境

環境再生医では、自然環境だけでなく、『自然と人間の関係性の再生』に力を入れています。そのため理科系のみならず、文科系(人文学・社会学など)など、いろいろな分野・立場の方が取得しています。

●こんな方々が環境再生医として活躍しています！

当資格は平成15年に制定され、現在では全国で約4,000人の方々が環境再生医として、さまざまな分野で活躍しています。

コンサルタント、環境団体、教育機関、行政、製造業、サービス業、金融・保険業、農林漁業、建設、不動産、インフラ系、造園、週末農業の会社人 など

在学中に環境再生医(初級)を取得する方法

神戸大学 発達科学部、国際人間科学部は自然環境復元協会との「認定校」登録を行っているため、指定された履修科目の単位を修得すると環境再生医初級資格の取得が可能です。資格は就活開始前に取得できるので就職活動に活かすことも可能です。

◎1.別紙「対応科目」による必要項目ごとの単位履修

①2単位以上、②2単位以上、③2単位以上、④2単位以上、⑤2単位以上
合計10単位以上

◎ 2. 認定申請書の提出

◎ 3. 認定料8,000円の納付

●問合せ先：[担当教員]環境共生学科 丑丸

[担当]鶴甲第二キャンパス事務課 教務学生係

環境再生医取得に必要な申請書の入手や、不明なことがある場合は教務学生係まで。

環境再生医 資格取得のメリット

●1、就活に役立ちます。

これからは「環境」というキーワードが関係しない業種は皆無ですので、この資格をキーにしてターゲット先の業種を広げることができます。また、環境再生医MLにご登録いただければ、卒業後も環境業界に関する情報(採用関連含む)をご案内します。

●2、授業の中で取得できます。

対象履修科目の単位取得だけで取得できます。学生で取得できるのは認定校のみです。

●3、一生使える資格です。

環境再生医(初級)は一生保持できます。そのため、社会に出てから貴殿が「環境人」であることを第三者的に示す「ライセンス」としてご活用ください。

※名刺などに記載されている方が多いです。

環境再生医の資格に関する科目

国際人間科学部

環境再生医 初級認定講習項目	本学部で開講する科目	単位数
1.地球環境問題・自然 環境復元概論	環境共生学概論1,2	2(各1)
	地球環境学1,2	2(各1)
	生態学	2
	環境生命科学B	2
	公害・環境史	2
2.自然環境の再生	緑地環境論	2
3.物資資源	環境経済学	2
	地域環境資源論	2
4.環境教育・市民活動	市民科学教育論	1
	地域社会共生論	2
	合意形成プロセス論	1
5.環境行政・関係法令	国際協力の現状と課題A (全学共通科目)	1
	国際協力の現状と課題B (全学共通科目)	1
	生物多様性科学	2
	環境法	2
	環境政策論	2